

《平成30年度事業計画》

公益財団法人 功農支援会

I 基本方針

近年、日本では農業者人口が減少しつつあり農業は衰退の一途をたどっている。新規で農業を始める人は少なく農業者の高齢化・後継者不足が進み日本の食料自給率もカロリーベースで40%を切っている。農業で成功するためには栽培力・販売力・経営力がなくてはならず、これから農業を始める人にとっては一般的な知識のみでは農業を行うことは困難であり、さらに農業を続けていくことは至難の業である。そこで当財団は、農業の担い手となる人材の育成・確保並びに就農活動、農業活動に対する支援を通じて、農業に関するノウハウと経営手法を伝授し農業の振興と健全な発展に寄与するために、新規就農者に対する勉強会や実践研修を通して次世代型農業経営者を育成支援していくことを目的とし、新規就農者向け研修プログラムを実施することにより、農業研修事業を行う。

また、農業研修事業の一環として、農業研修を受講している間の研修生への生活支援を目的として当財団の資金力を生かし、研修生へ研修助成金を給付する。

II 公益目的事業

農業研修事業

次世代型農業経営者育成のため、就農希望の研修生を募集し下記のとおり引き続き研修プログラムを実施する。

(1) 研修生の募集

■募集期間

第1期生 平成30年4月～平成30年8月

第2期生 平成31年1月～平成31年3月

■募集定員

10名程度

① 基礎研修コース 8名

② 経営者育成研修コース 2名

■募集方法

下記の方法により当財団募集要項に沿って全国的に研修生を募集する。

- ・当財団ホームページにて公募
- ・就農セミナーを開催（6月、2月）
※新・農業人フェア等の出展において、ブース面談者等にも案内を送る。
- ・功農支援会 農業塾を開催（10月）
- ・新・農業人フェア 名古屋会場に参加（9月実施予定）
- ・マイナビ就農FEST 愛知県に参加（2月、3月実施予定）
- ・愛知県農業改良普及課担い手G（県内4ヶ所）訪問、面談（4月、5月）
- ・豊橋市、田原市、名古屋市の農政課訪問、面談（4月）
- ・愛知県農業大学校、農業高校へ訪問（5月）

（2）研修生の選考

理事会にて選定した選考委員が選考委員会を開催し、当財団の選考委員会運営規則の規定に沿って選考する。

（3）研修内容

■基礎研修コース

基礎の研修のみを行うコースである。

【基礎の研修内容】（1年）

- トマト等施設栽培研修：収穫・出荷・葉かき（病気・カビを防ぐために古くなった下葉を取り除く作業）等、栽培実習を行う。
- ハウス設備、栽培システム等の操作方法や、簡単なメンテナンス方法を学び、季節変動に合わせたハウス内環境設定を操作ができるようになる。

- 生産物販売研修^{※1}：生産物の流通販売経路を理解し、情報収集の方法、消費者動向の分析等を学びながら収穫物の販売を行う。
- 家族経営農業実践研修：種苗、農耕機械等、農業に必要な物資の調達方法を学び、農業の生産計画をたて実行する。
- 大規模農園：提携先の大規模農園にて、労務管理等を学ぶ。
- 勉強会^{※2※3※4}：土壌、病虫害防除、施肥管理、環境管理等を講師より学ぶ。
- 圃場巡回^{※2}：研修修了生、農業に精通した専門家と圃場を巡回し栽培状況を確認し、問題点等を自ら見つけ出す。
- 定例会^{※2}：圃場巡回により挙げた問題点等を取り上げ、改善方法について意見交換を行う。

■経営者育成研修コース

基礎の研修と応用の研修を、通して行うコースである。

【基礎の研修内容】（1年）

上記基礎研修コースの基礎の研修と同じ内容である。

【応用の研修内容】（1年から2年）

- 研修農場管理：栽培から経営まで自ら行いながら農業経営を習得するために、温室1棟を研修生が各自で管理する。
- 大規模農園：提携先の大規模農園にて労務管理の他、出荷管理等を学ぶ。
- 勉強会^{※2※3※4}：就農手続き・マーケティング・経理等を講師より学ぶ。
- 圃場巡回^{※2}：研修修了生、農業に精通した専門家と圃場を巡回し栽培状況を確認し、問題点等を自ら見つけ出す。
- 定例会^{※2}：圃場巡回により挙げた問題点等を取り上げ、改善方法について意見交換を行う。

※¹ 生産物販売研修

研修で生産された農産物を販売する実習を行う。

25,960,000円（見込み）

※² 勉強会・圃場巡回・定例会

基礎研修・経営者育成研修にて行う勉強会・圃場巡回・定例会の実施回数。

- ・勉強会 年33回
- ・圃場巡回 年12回
- ・定例会 年12回

※³ 実践的 e-ラーニングの開発

新規就農に向けて栽培技術・農業経営手法等が学べる e-ラーニングプログラムを開発するため、豊橋技術科学大学と共同研究を行う。

期間：平成29年10月27日～平成32年9月30日

※⁴ 豊橋技術科学大学が開講している「IT食農先導士養成プログラム」の教室講義受講
(希望者のみ)

(4) 栽培予定品目

品目：大玉トマト	…	8月上、8月下定植
パプリカ	…	9月上、中定植
葉ネギ	…	周年栽培
切り花(キク) ※	…	4月開始予定

※花きの一大産地である渥美半島での就農を目指し、栽培品目に切り花(キク)を追加する。

花きの栽培技術、経営ノウハウ等を有するイノチオ農芸(株)(提携農場)にて研修を実施する。

(5) 研修助成金の支給

下記のコースにより、それぞれの助成金額を支給する。

■基礎研修コース 月額12万円

■経営者育成研修コース 月額15万円

選考は、上記(2)と同様に行い、他の助成金・給付金の状況も加味して支給を決定する。

(6) 設備投資

農作物生産・出荷に関する、設備の充実を図る。

Ⅲ 法人事業

1. 理事会の開催予定

平成30年6月、平成31年3月

2. 評議員会の開催予定

平成30年6月

3. 農業次世代人材投資事業の申請

農業次世代人材投資資金（準備型）研修機関（愛知県）の認定取得に向け申請を行う。

4. 情報公開

ホームページ等による当財団の活動内容および実績並びに研修に関する情報の公開を行い、当財団の認知と事業内容の周知に努める。